

<p>西高ニュース 第109号</p>	<p>県立伊丹西高等学校 住所：伊丹市奥畑3丁目5番地 TEL：072-777-3711 FAX：072-777-3712 HP：http://www.hyogo-c.ed.jp/~itaminishi-hs</p>
<p>校訓 克己、協調、創造</p>	

サッカー部 県大会3回戦!

5月6日(土) 伊丹西高校グラウンドで行われた2回戦は、西脇工に先制されるも、後半10分に平田(3年)が、そして延長4分には森本(2年)がゴールを決め、逆転勝利し3回戦に駒を進めた。

3回戦の相手は新人大会優勝、第一シードの三田学園。一昨年の総体準々決勝0-7で敗れた相手でもあった。

5月14日(日) 晴天の三田学園グラウンド 10:00キックオフ

お互い相手の出方を伺う静かな立ち上がりとなる。しかし前半10分一瞬の隙をつかれヘディングシュートを決められ、追いかける展開となった。そこから連動した守備で相手に決定機を作らせないが、伊丹西も攻め手が無い我慢比べのまま0-1で前半を終えた。

ハーフタイム、前半の反省と改善、これからの戦い方を確認し後半へ。すると後半13分、植野(2年)のパスカットから竹内(2年)へ。そして平田(3年)とのコンビネーションから抜け出した山本(3年)がペナルティーエリアへ、相手に囲まれながらシュート体勢に入ったところを倒されてしまうが、笛は鳴らず同点のチャンスを失う。

その後、交代のカードを切り反撃の態勢にはいるも、逆に前がかりになったところを決められ0-2・・・最後まで走り、ピッチ内外全員で声を上げ戦ったが、3回戦敗退となった。

遠方にも関わらず多くの生徒・卒業生・保護者の皆様のご声援、本当にありがとうございました。

新人大会阪神予選の初戦敗退から半年、これまで積み上げてきた手ごたえと、まだまだ足りないという現実をしっかり受け入れ、これから始まる後期阪神リーグと選手権大会に向けて切り替えたいと思います。



2年 ヒューマン基礎

5月9日(火) 2年生総合ヒューマン類型「ヒューマン基礎」の授業で、大阪成蹊短期大学幼児教育学科 加戸敬子先生に来ていただき、『子どもの遊び』をテーマに講義していただきました。加戸先生は音楽療法士の資格ももっておられ、音楽療法や音などについて学びました。

生徒の感想より：

「音楽療法で認知症の進行を遅らせたり、子どものための療法があったりと幅広く使えるなんてすごいなと思いました。『言葉で何でも伝えることが出来るのに、音楽がなくなるとには理由があると思います。』と仰ったときに、言われてみればそうだなとすごく感動しました。音楽が流れるだけでその場の空気を一瞬で変えることが出来たり、懐かしい歌を聴いてその時の感情、見た風景、においを思い出せたり、音楽にしかできないことはたくさんあって、この世に絶対いるものなんだなと思いました。」

「2時間という短い時間でしたが、たくさんの初めてや共感する体験談などを聞けてすごくためになったと感じる反面、まだまだ知らないことがたくさんあるんだなということに改めて気づかされました。

私が今回の授業で一番印象に残っているものは、みんなで円になって伝達していく遊びです。この遊びではコミュニケーションや瞬発力、そして考える力が進歩できたんじゃないかと思いました。楽しいだけでなく、もっと学びたいという気持ちを引き出していると感じた時間でした。」



サイバー犯罪防止講演会

5月23日(火) サイバー犯罪被害防止教室に1年生が参加しました。初めに、放送メディア部・演劇部・生徒会が協力して制作した「いじめ防止啓発ビデオ」を視聴しました。高校生のSNSいじめのリアリティのある内容でした。その後、兵庫県警察本部サイバー犯罪対策課の警部補 本田 英理さんから、「ネット・スマホとの安全なつきあい方」について講演がありました。個人情報やネットに載せないことや、発信したことはさかのぼって検索される可能性があること、犯罪に巻き込まれないことなどのお話がありました。質疑応答では「川西市や伊丹市など身近なところでこのようなネットがらみの事件が起こっているのか?」という質問や「ウイルスに感染したか早く発見できる方法は?」などの質問がありました。本田さんからは「身近で起こっていても表に出ない場合もあるだけで、実際はよく起こっている」「ウイルスに感染したら動作が遅くなるのが一つの目印である」という答えでした。最後に1-6飯田 太一くんから「ツイッターなどのSNS情報発信には気をつけていきたい」等のお礼の言葉がありました。最後に本田さんから「あなたは一人じゃない、警察を初め身近な大人はみんなあなたのことを見守っている」という温かいメッセージが贈られました。

